



New York State Board of Regents  
MaryEllen Elia  
Commissioner of Education  
The State Education Department  
The University of the State of New York / Albany, NY12234  
Office of Communications



## 最新情報

2017年3月7日即日発表

連絡先:

Jonathan Burman (ジョナサン・バーマン) または  
Jeanne Beattie (ジーン・ベアティ)  
(518) 474-1201  
[www.nysed.gov](http://www.nysed.gov)

### 不法移民の生徒の権利と、DIGNITY FOR ALL STUDENTS ACT (全生徒尊厳州法、DASA) に関する指導書、20言語で利用可能に

ニューヨーク州教育長メアリーエレン・エリアは本日、DIGNITY FOR ALL STUDENTS ACT (全生徒尊厳州法、「尊厳法」と不法移民の生徒の権利に関する指導書をニューヨーク州で最も多く話される20言語で発行したことを発表しました。州司法長官室と共同で州の教育局は、全米各地で発生しているいじめ、差別、嫌がらせ事件の増加と、最近の連邦政府の政策を原因とする不安と混乱を受けて、この重要な問題について全学区に指導を提供いたしました。これら資料により、保護者のための、移民の生徒の権利、尊厳法についての重要な指導内容へのアクセスがさらに拡大されることになります。

大学総長ベティ A. ローサは、以下のように語っています。「私たち全員が結束することにより、生徒が安全かつ支援されていると感じる学校環境を作ることができます。私たちは、生徒が人種、民族、家庭で話す言語、在留資格、性的指向その他に関係なく自由に学べる、教育の聖域を提供することへのコミットメントを再確認しなければなりません。すべての子供たちを私たち自身の子供として暖かく思いやりを持って受け入れる必要があります。」

また、エリア教育長は、「ニューヨーク州教育局では生徒の学習環境を脅かす政策を非常に深刻に受け止めています。生徒はすべて無料で教育を受ける権利があり、誰も学校へ行くことを恐れるべきではありません。保護者と子供の権利についてのリソースをはじめとする必要なリソースをすべての保護者に提供することを含め、安全で支援のある学習環境を作ることに私たちは全力を尽くさなければなりません」と語っています。

当局はこのたび、尊厳法に関する保護者および関係者向けの資料を、ニューヨーク州で最も多く話される10言語 (スペイン語、中国語、ベンガル語、ロシア語、ウルドゥー語、ハイチ語、フランス語、韓国語、ネパール語) に翻訳して用意しました。これは、生徒の権利が法律で許される最大限の範囲で保護されることを確実にするための、ニューヨーク州司法長官室 (「OAG」) との共同の取り組みを拡張・強化するものです。

翻訳資料には、最近司法長官エリック T. シュナイダーマンとエリア総長が発行した、移民の子供が不当な措置を受けることなく州の公立学校に登校する権利を守る、既存の州法および連邦法順守の義務について学区に再確認する資料が含まれます。指導書は学区に生徒と教育記録の秘密性に関連する法的義務について情報を提供しています。

さらに、教職員、生徒、保護者用に、嫌がらせ、いじめ、差別の報告と対処に役立つ指導内容やリソース、尊厳法に準じてポジティブな学習環境を作る努力を一層強化・維持することに役立つリソースが用意されています。

[これら資料は20言語でここから閲覧できます。](#)

[移民関連の政策についてはここ、尊厳法に関する指導およびリソースについてはここをご覧ください。](#)